

CSM : 非参照アクセス リストの保持方法

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Security Manager (CSM) の導入時に他の CLI コマンド (access-group など) で使用されていない参照アクセス リストを保持する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントは、CSM がインストールされ、適切に動作することを前提としています。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CSM 3.0.1 以降に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

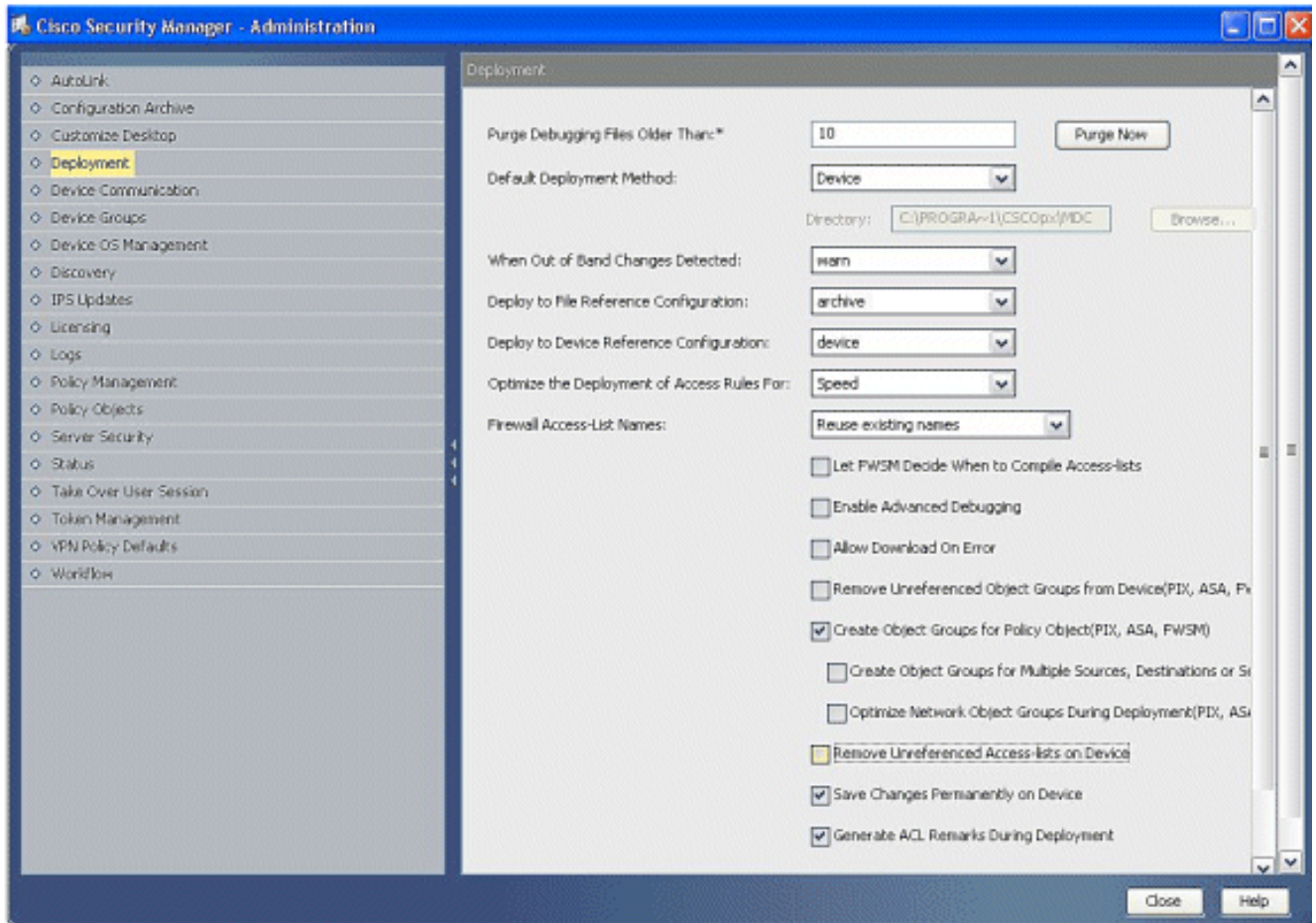
CSM の導入時の問題は、他の CLI コマンド (access-group など) で使用されていない参照アクセス リストを保持する方法です。

たとえば、PIX 設定にアクセス リストがあってもアクセス グループの一部ではない場合です。CSM は PIX を管理し始めるときに、デフォルトではこれらのアクセス リストを削除します。

解決方法

問題を解決するには、次の解決策を使用してください。

1. CSM クライアントから、[Tools] > [Security Manager Administration] > [Deployment] を選択し、[Remove Unreferenced Access-lists on Device] チェックボックスを確認します (デフォルトで有効)。
2. このオプションをオフにします。



関連情報

- [Cisco Security Manager のサポート ページ](#)
- [Cisco PIX Firewall ソフトウェア](#)
- [Cisco Secure PIX ファイアウォール コマンド リファレンス](#)
- [セキュリティ製品に関する Field Notice \(PIX を含む \)](#)
- [Requests for Comments \(RFCs\)](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)